

監 査 第 93 号
平成25年(2013)11月8日

出 雲 市 長 長 岡 秀 人 様

出雲市議会議長 坂 根 守 様

出雲市監査委員 周 藤 滋

出雲市監査委員 吾 郷 紘 一

出雲市監査委員 川 上 幸 博

財政援助団体等監査の結果について（報告）

地方自治法第199条第7項の規定に基づく財政援助団体等監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を報告します。

監査結果報告書

第1 監査の対象

財政援助団体 公益社団法人 出雲市シルバー人材センター

- ①平成24年度(2012)補助対象事業の運営状況
- ②平成24年度(2012)補助対象事業の経理状況

第2 監査の実施期間

平成25年(2013)9月30日から同年10月25日まで

第3 監査の方法

今回の監査は、出雲市シルバー人材センターの決算書及び附属書類を基に、関係職員に対する事情聴取を行う等の方法により実施した。

第4 監査の結果

見直し又は検討を要する事項が多数見受けられた。

今回の監査を踏まえ、監査委員として次の4点の意見を述べる。

1. 会員数、会費について

登録会員は平成20年度をピークに減少しているが、特に継続雇用制度の影響もあり60歳台の会員の減少が顕著のようである。さらに、平成24年度に行われた会費の値上げ時期と大量脱退者が発生した時期は、ほぼ一致しており会費の値上げも要因の一つとなっているようである。自主財源確保のために会費の値上げに踏み切ったとのことだが、大量の脱退者が発生しては、せっかくの会費の値上げも功を奏しないものになってしまう。今後、会費の妥当性のみだけでなく、あり方そのものについても他市の状況等も考慮しながら検証されたい。

2. 補助金について

監査を進める中で、市補助金のうち国庫補助金に比して上回る部分の算定根拠は、平成17年の2市4町にあった6センターの統合時、国庫補助対象外であった1市3町のセンターの人件費相当額であったにもかかわらず、各センターが廃止された後も、統合前のセンターの人件費を補助金の根拠としていることが分かった。補助金自体を否定するものではないが、少なくとも毎年度その根拠について検証し、適正な補助金申請を行うべきと考える。なお、市担当課においても、補助基準を明確にしておきたい。

(注) ①「国庫補助対象外であった1市3町」とは、旧平田市、旧佐田町、旧多伎町、旧湖陵町である。

②「市補助金のうち国庫補助金に比して上回る部分」とは、平成24年4月13日付、島労発安第477号により島根労働局長より通知のあった『平成24年度シルバー人材センター事業の執行方針について』I 基本的事項1の「シルバー補助金は、地方公共団体が応分の補助を行うことを前提に、シルバー連合本部及びシルバー連合の活動拠点ごとに、国庫補助対象経費の2分の1の額かつ国の予算の範囲内において交付することを基本とする。(以下省略)」に基づき、市が応分以上に補助を行った部分のことである。

3. 今後の経営見通しについて

2市4町合併に伴う6センターの統合により、国及び市の補助金が平成18年度から段階的に削減され、それに伴って平成21、22年度は正味財産期末残高が減少した。その後、斐川町センターとの合併により平成23、24年度は増加に転じたが、平成25年度以降再び補助金の削減が予定されており、今後経営環境が厳しくなることは容易に想像できる。よって、創意工夫により事業実績である契約金額を伸ばすことはもとより、さらなる経費節減等によって健全財政の確立を図られたい。

4. 事務処理について

平成24年度補助金等実績報告書の中に次のような問題があるなど、事務処理において適切と言い難い点が多々見受けられた。研修の実施やチェック体制の構築など、早急な対策を講じられたい。

- ①退職給付費用に記載誤りがあり、延いては補助対象経費の誤りとなった。
- ②臨時職員の賃金科目が「臨時雇賃金」ではなく、「諸謝金」に計上されていた。
- ③旅費の科目に役員用と職員・会員用があるが、混在して執行されていた。
- ④委託費の中に、他費目に計上すべきものや補助対象経費として相応しくないものが含まれていた。
- ⑤企画提案方式による事業で、一部実績と異なる内容が報告されていた。

第5 監査の概要

1. 出雲市シルバー人材センターの概要

- ①事業実績（平成24年度）
 - ・会員数 1,015名（平成24年度末）
 - ・契約金額 436,125千円
 - ・受託件数 13,400件
 - ・就業実人員 929名（就業率91.5%）
 - ・就業延人員 87,754人日

②役員構成

理事会 14 名（理事長 1 名、副理事長 2 名、常務理事 1 名、理事 8 名、監事 2 名）、

③事務局体制

事務局長 1 名、課長 1 名、主任 4 名、主事 1 名、臨時職員 5 名

④沿革

昭和 63 年 10 月 社団法人出雲市シルバー人材センター設立

平成 元年 4 月 無料職業紹介事業の開設届

平成 4 年 4 月 旧図書館から今市町北本町「出雲ワークプラザ」へ移転

平成 5 年 3 月 契約金額が 1 億円を超える

平成 7 年 10 月 「ねんりんピック ‘95 しまね」にボランティアとして参加

平成 9 年 9 月 第 1 回安全大会を開催

平成 10 年 10 月 センター設立 10 周年記念式典を挙

平成 12 年 11 月 県連合会主催のしまねシルバーフェアが開催される

平成 15 年 3 月 契約金額が 2 億円、会員数が 500 名を超える

平成 17 年 4 月 2 市 4 町の合併に伴い 6 センターを統合し、新センターとして
スタート

平成 19 年 4 月 一般派遣労働者事業の実施事業となる

平成 23 年 10 月 斐川町センターとの合併

平成 25 年 4 月 公益社団法人への移行

2. 平成 24 年度事業実施状況

①普及啓発

- ・センター会報「シルバー出雲」の発行
- ・10 月のシルバーの日にボランティア活動、スーパー店頭でのシルバー事業の PR を実施
- ・コミュニティセンター文化祭に参加

②会員の増員に向けた取組み

- ・未就業会員対策の一環としての相談対応
- ・会員互助会への支援

③就業創出に向けた取組み

- ・事務局職員による民間事業所への就業開拓訪問
- ・福祉家事コーディネーター配置による新たな就業掘り起こしとエリア拡大
- ・企画提案方式による新規事業の実施

④安全・適正就業対策推進事業

- ・安全ニュースの継続発行、職群リーダーによる定期的巡回パトロール
- ・管理業務従事者の長期就業是正、適正な受託と就業のための自主点検

⑤健全財政の確立

- ・事務比率の改定、会費の値上げ
- ・支部事務所の廃止による職員の削減
- ・一般運営費の管理費や事業運営費の一層の切詰め

⑥シニアワークプログラムの推進

- ・県連合会主催の剪定講習会の出雲市での実施
- ・出雲市センター主催の剪定・表装・宛名書・家事援助サービス事業講習会の継続実施

⑦交流研修・調査研究事業

- ・中国 5 県によるブロック大会や全シ協総会への役職員派遣
- ・会員動向調査の実施

⑧中期事業基本計画の実施

- ・中期事業基本計画（第 3 次 5 ヶ年計画）の初年度にあたり、同推進委員会による進捗状況の把握

⑨一般労働者派遣事業の導入

- ・出雲市センターの派遣事業 P R のため、事務局職員による事業所訪問

3. 平成 24 年度正味財産増減の状況

○経常収益；480,973,621 円

- ①受託事業収益 436,125,382 円
- ②労働者派遣事業等受託収益 22,980 円
- ③受取会費 3,285,650 円
- ④受取補助金等 41,285,000 円
 - ・受取連合交付金 (17,400,000 円)
 - ・受取市補助金 (23,885,000 円)
- ⑤雑収益 254,609 円

○経常費用；470,845,188 円（うち市補助対象経費 74,328,875 円）

- ①管理費 2,046,645 円（うち市補助対象経費 1,245,475 円）
- ②人件費 40,260,373 円（うち市補助対象経費 40,119,773 円）
- ③就業機会確保事業費 425,041,784 円（うち市補助対象経費 29,467,241 円）
- ④企画提案方式事業費 3,496,386 円（うち市補助対象経費 3,496,386 円）

○当期一般正味財産増減額 10,128,433 円